

大阪城

2023

9/7 (木)

14386
号

全港
西成分會

2247
6847-
4947

一昨日、9/5(火)夕方には、たまたまがれコンサートが
三角公園でやられて、多くの人が、若い人たちの
力強い、生の演奏を楽しみました。

このコンサート風景を聞いても、釜ヶ崎の一年
ごとの変化を感じます。生きものののように、この街も
変化しています。若い釜ヶ崎で働き、住み、関係
する人達が、この変化の本質を鋭くとらえ、変化
を自分達の自治組織化、生きる力の強化として
再編成していく流れが育つ、いくことを楽しみに
したいものです。日本でも、60年ぶりとかいわれて
きた、西武百貨店の組合、労働者たちが一日
でしたが、ストライキをして、雇用権力のために
戦いました。日本社会の経済的構造変化を
表現している風景でもあります。

アメリカでは、ハリウッドの映画監督や脚本家、
俳優、映画関係者の組合、約16万人がストや
抗議行動をして、人工頭脳(AI)が仕事をうばい
権利をおかすことに戦っています。バイ・テニ大
統領が、来年11月の選挙権も関係するのでは、
ストとテニ大に連帯・支持のメッセージを送ってい
ます。社会が、一皮も二皮もむけるように地鳴り
しながら流動しています。秋の風が吹き始めました。

大阪IR「2030年秋ごろ」開業 計画より約1年延期

大阪府・市は5日、カジノを含む統合型リゾート(IR)開業への工程などを定めた実施協定案を発表した。開業時期は、当初想定 of 2029年秋～冬ごろからずれ込み、「30年秋ごろ」と明記。府市は同日中に協定案を決定し、国の認可を経た上で、9月末にもIR事業者と協定を締結する。

協定案は、工程のほか、事業の運営や自治体との必要な取り決めなどを定めるもので、府市とIR事業者が策定。事業者と正式に協定を結んだ後、事業者がカジノ免許を国から交付されれば、開業に必要な手続きがほぼ完了する。

協定案によると、23年秋ごろから地盤の液状化対策工事を始め、25年春ごろから施設の建設工事に着手する。開業直前の30年夏ごろまでに工事を終える。開業時期をめぐっては、今年4月の国によるIR計画の認定が府市の想定より約半年遅れたことに伴い、開業の延期が見込まれていた。

また、事業者が投じる初期投資は約1兆800億円と見込んでいたが、資材費高騰などの影響で約1兆2700億円に増額。増加分は、事業を中心的に担うオリックスと米MGMリゾート・インターナショナル日本法人の出資額を増やしてまかなう。

IRは大阪・関西万博の会場と同じ人工島・夢洲(ゆめしま、大阪市此花区)で開業する予定。カジノだけでなく、高級ホテルや国際会議場なども整備する。(箱谷真司)

朝日新聞2023-9-5

「万博」工事がどん詰まりになってにっちもさっちもの状態になってるので、そちらのほうが延期かと思いましたが、「メンツ」がかかるので「突貫工事」でもやるつもりようです。